シナリオ分析

気候変動と自然資本を統合的に捉えた将来シナリオから世界観の異なる #1、#3 を選択

高い

市場（経済）と市場以外（政治）の整合（移行リスク）

低い

#1 自然保全と経済発展が両立

GHG 排出量削減により気温上昇が抑えられ、自然の劣化が進行せず、自然災害の発生状況に大きな変化なし。脱炭素やネイチャーポジティブ実現に向けた政策導入と技術開発が進展

1.5℃シナリオ

#2 自然劣化に経済活動が追従

気温上昇や自然の劣化が深刻化することで、気候変動を含めた自然資本の重要性が高まり、社会の関心が拡大。脱炭素やネイチャーポジティブ実現に向けた政策導入や技術開発が促進

#4 自然保全と経済活動が分断

気温上昇や自然資本の劣化が想定ほど進行しないことで、環境課題に対する規制や活動の優先順位が低迷

#3 自然劣化＆経済停滞

気温上昇や自然の劣化が抑制されず、自然災害が頻発・甚大化。にもかかわらず、政策導入が限定的または遅延し、企業の環境関連技術開発の取り組みが評価されず、体系的な対策の推進が困難

4℃シナリオ

緩やか ← 気候変動／自然劣化の程度（物理リスク） → 深刻